



2019年
3月
197号



連合鶴岡田川

編集発行
連合山形鶴岡田川
地域協議会
鶴岡市泉町8-57
TEL 0235-25-8605
労働組合センター内

春闘 情勢

連合は2019春闘の第1回集計結果（3月15日回答）、賃上げ率が前年同期と変わらない2.16%と公表した。

賃上げ率はベア（基本給の水準を引き上げるベースアップ）と定昇（年齢を重ねると自動で増える定期昇給）を合わせたもので、15日に回答があった626組合（組合員計約142万人）の平均、賃上げ額は月6,653円と前年同期より138円高い回答となった。

大手製造業は米中貿易摩擦の影響により、自動車や電機などの輸出産業を中心に前年割れの厳しい回答が相次いだ。一方、外食や流通などのサービス業は賃金の引き上げにより深刻な人手不足を解消するため前年を上回る回答となった。

第2回集約結果（3月22日回答）、賃上げ率が2.13%（前年2.17%）になり前年を下回ったことを公表した。22日に回答があった618組合（組合員計約177万人）の平均、賃上げ額は月6,475円と前年同期より33円高い回答となった。第1回同様、組合員99人以下の中小企業は2.05%（前年1.97%）と前年を上回る回答となった。賃上げ額は月4,873円と前年同期より245円高い回答。

2019春闘は、大手企業は利益還元として賃上げを実施しているが、中小企業は深刻な人手不足による業績悪化を防衛するための賃上げとなっている。政府がまとめた1から3月期の法人企業景気予測調査によると、国内の景況判断（現状判断）指数は大手企業がマイナス1.9、中堅がマイナス4.9、中小がマイナス13.6と、企業規模が小さいほど厳しくなっているが、深刻な人手不足を解消するため、中小企業は賃上げに踏み切ったと考えられる。

【2019春闘は厳しい闘い】

政府が賃上げを促し、経済界が応える「官製春闘」は6年目を迎えるが、2019春闘は厳しい状況にある。

昨春に経団連会長に就いた中西宏明氏（日立製作所会長）が、ベアへのこだわりを薄め賞与や手当を含めた「年収ベースの交渉」に切り替えることを表明したため、安倍首相も昨春は3%とした賃上げ目標を今春は掲げなかった。

自動車総連がベアの統一要求を見送り。連合は「ベアだけではなく賃金の絶対水準」を確保するため「35歳で月に約30万円」といった方針を付加した。

今後「交渉が本格化する中小企業との水準格差を縮めるため」と説明しているが、4月以降、全国各地で闘いを展開していく、2019地域春闘の回答に大きな影響を与えることになると考えられる。



【2019春闘賃金引き上げ街宣行動】

3月の毎週土曜日、
連合鶴岡田川地協は
2019春闘勝利に
むけて、議長をはじめ
役員が交代で街宣
行動を行い、次のよう
に訴えました。



2019春闘は定

期昇給にベアを勝ち取らなければ相次ぐ物価上昇と消費税引き上げによって、国民生活は
厳しいものになっていく。

2019春闘の地域での闘いはこれからであり、連合地協は引き続き労働者の賃金引き
上げの闘いを進めていく。不払い残業や労働条件に不満があるなど、一人で問題を抱えて
いないで、連合に相談をして欲しい。

【連合鶴岡田川地協の取り組み】

- 4月 7日 (日)
山形県議会議員選挙投開票日
- 4月12日 (金)
2019春闘決起集会 (18時15分・勤労者会館)
- 4月17日 (水)
2019田川地区中央メーデー第2回実行委員会 (18時15分・勤労者会館)
- 4月17日 (水)
連合地協第5回幹事会 (19時30分・勤労者会館)
- 4月22日 (月)
田川地区労福協幹事会 (18時30分・東北労働金庫鶴岡支店)
- 4月26日 (金)
2019田川地区中央メーデー・準備 (15時00分・地協事務局)
- 4月27日 (土)
2019田川地区中央メーデー (9時00分・鶴岡公園疎林広場)
- 5月 8日 (火)
勤労者体育祭実行委員会 (18時15分・事務局調整中)
- 5月14日 (火)
連合地協第6回幹事会 (18時15分・勤労者会館)